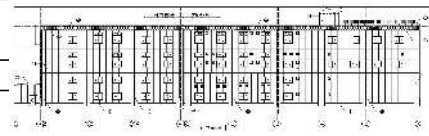


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)野口株式会社・厚木工場増築工事	階数	地上3F
建設地	厚木市金田字御嶽1107番2	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	40人
気候区分		年間使用時間	2,808時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月 予定	評価の実施日	2014年4月1日
敷地面積	3,263 m ²	作成者	(株)アート設計
建築面積	1,218 m ²	確認日	2014年4月1日
延床面積	3,498 m ²	確認者	(株)大城組



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆☆

標準計算

建設	修繕・更新・解体	運用	オンサイト	オフサイト
参照値				
建築物の取組み				
上記+ 以外の				
上記+				

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
室内環境についてはFの建材を全面的に使用することや耐用年数の長い配管材を使用することで考慮している。	0
室外環境についてはLED照明を採用することや再生骨材の路盤材利用、断熱材、ビニル床材にリサイクル材を使用することで考慮している。	
Q1 室内環境 室内環境についてはFの建材を全面的に使用することで考慮している。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管材を使用している。
	Q3 室外環境(敷地内) 植栽により良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー LED照明設備を採用することで消費電力を抑えている。	LR2 資源・マテリアル 再生骨材の路盤材利用、断熱材、ビニル床材にリサイクル材を使用している
	LR3 敷地外環境 広告照明がないため外に漏れる光はない。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される